

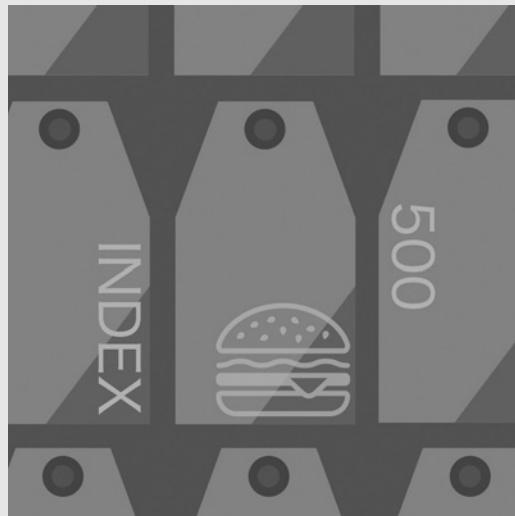
SMBC・ DCインデックスファンド (S & P 500)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

日経新聞掲載名：D I S P 500

2023年11月21日から2024年11月20日まで

第 5 期 決算日：2024年11月20日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、米国の取引所に上場している株式等に投資を行い、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	27,368円
純資産総額(期末)	106,394百万円
騰落率(当期)	+36.8%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

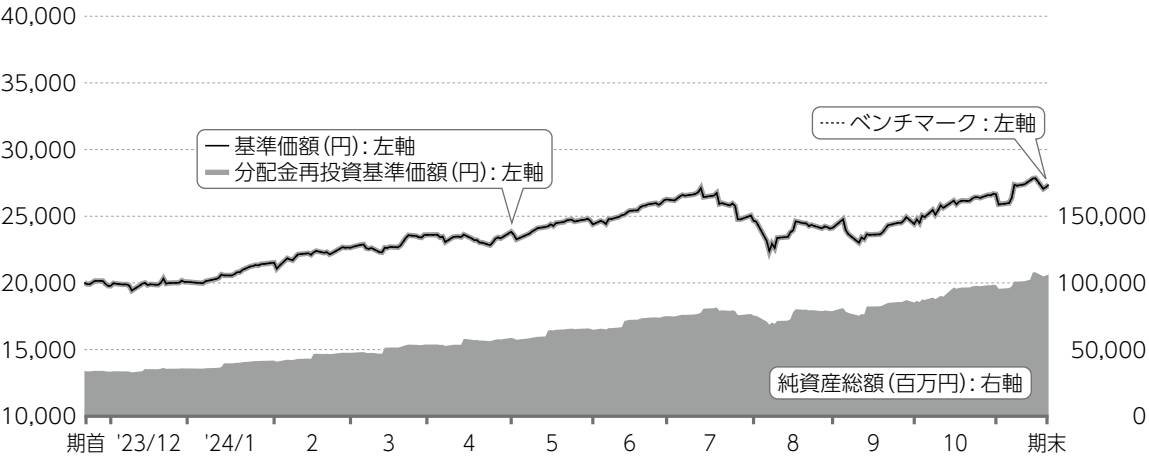
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2023年11月21日から2024年11月20日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	20,003円
期 末	27,368円 (既払分配金0円(税引前))
騰 落 率	+36.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドのベンチマークは、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)です。
※S & P 500インデックスは、S&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(以下「SPDJ」)といます。)の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®は、Standard & Poor's Financial Services LLC(以下「S&P」)といます。)の登録商標で、Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(以下「Dow Jones」)といます。)の登録商標です。これらの商標を利用するライセンスが

SPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが委託会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

基準価額の主な変動要因(2023年11月21日から2024年11月20日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、S & P 500インデックスに採用されている株式に投資することにより、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指しました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 世界的な長期金利の低下に加えて、景気のソフトランディング(軟着陸)への期待が高まったこと
- C P I (消費者物価指数)の鈍化や堅調な経済指標が続いたこと
- 米ドルが対円で上昇したこと

下落要因

- I S M(全米供給管理協会)製造業景況指数や雇用統計が低調だったことなどから、米国景気に対して警戒感が高まったこと

1 万口当たりの費用明細 (2023年11月21日から2024年11月20日まで)

項 目	金額	比率	項目の概要
(a) 信 託 報 酬	23円	0.097%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は23,659円です。
(投 信 会 社)	(9)	(0.037)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.037)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの 管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実 行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.012	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.010)	
(先物・オプション)	(1)	(0.002)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(公 社 債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	6	0.023	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.019)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	31	0.132	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

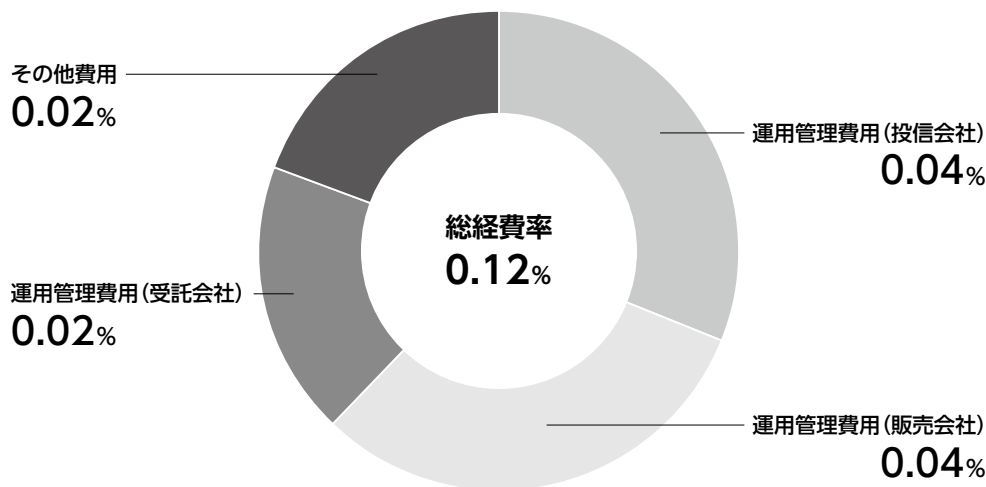
※比率欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.12%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2019年11月20日から2024年11月20日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2020年7月22日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



※ベンチマークは、設定日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

		2020.7.22 設定日	2020.11.20 決算日	2021.11.22 決算日	2022.11.21 決算日	2023.11.20 決算日	2024.11.20 決算日
基準価額	(円)	10,000	10,654	15,462	16,253	20,003	27,368
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	6.5	45.1	5.1	23.1	36.8
ベンチマーク騰落率	(%)	—	7.3	45.5	5.0	23.0	36.7
純資産総額	(百万円)	1	65	2,245	9,975	33,853	106,394

投資環境について (2023年11月21日から2024年11月20日まで)

米国株式市場は、大幅に上昇しました。また、為替市場で米ドルは円に対して上昇しました。

米国株式市場

2023年末にかけては、インフレ圧力の低下や F O M C (米連邦公開市場委員会) での翌年の金融緩和への転換予測の強まりが好感されました。世界的な長期金利の低下に加えて、景気のソフトランディングへの期待が高まったことなども背景に、株式市場は上昇しました。

2024年に入って以降も、マグニフィセント・セブン (Apple、Microsoft、Alphabet、Amazon.com、NVIDIA、Tesla、Meta Platforms) が市場を牽引するかたちで株式市場は底堅く推移しました。生成 A I 関連市場を巡る業績成長機会の広がりも、相場材料となりました。

その後、8月初旬に I S M 製造業景況指数や雇用統計が低調だったことなどから、米国景気に対して警戒感が高まり、相場は一時的に急落する局面がありました。しかし、C P I の鈍化や堅調な経済指標が続いたことで株式市場は反発しました。

期末にかけても、9月の F O M C で 0.5% の利下げが決定されたことや、11月に行われた米大統領選挙で共和党のトランプ候補

が勝利し、減税や財政拡大、規制緩和の期待が高まったことから、株価は堅調な推移となりました。

為替市場

2024年に入って以降、米ドルは堅調な株価動向などを背景に対円で上昇しました。夏場には、F R B (米連邦準備制度理事会) による利下げ観測の後退や日本銀行による追加利上げを受けて下落する局面がありました。しかし期末にかけては、11月の米大統領選挙でのトランプ候補の勝利などを受けて米ドル高・円安となり、期を通じても米ドルは円に対して上昇しました。

ポートフォリオについて(2023年11月21日から2024年11月20日まで)

当ファンド

期を通じて主要投資対象である「米国株式インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れました。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

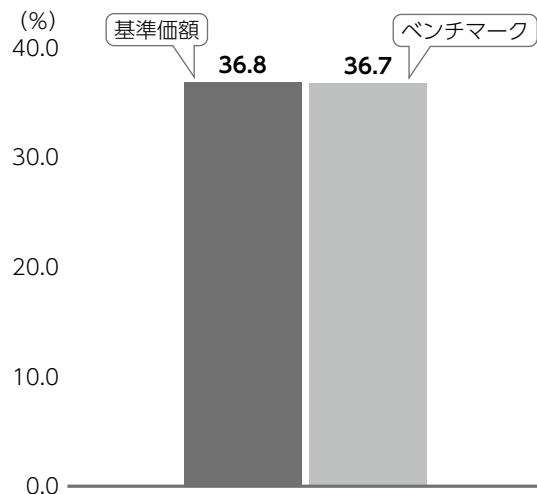
米国株式インデックス・マザーファンド

●株式組入比率

S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指し、期を通じて先物を含めた実質株式組入比率は100%に近い高位を保ちました。

ベンチマークとの差異について(2023年11月21日から2024年11月20日まで)

基準価額とベンチマークの騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)をベンチマークとしています。

記載のグラフは、基準価額とベンチマークの騰落率の対比です。

ベンチマークとの差異の状況および要因

基準価額の騰落率は+36.8% (分配金再投資ベース) となり、ベンチマークの騰落率+36.7%を0.1%上方乖離しました。

上方乖離要因

- ファンドに対する配当課税の税率が、ベンチマークの想定している税率より低いため

分配金について (2023年11月21日から2024年11月20日まで)

(単位：円、1 万口当たり、税引前)	
項 目	第 5 期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	17,368

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「米国株式インデックス・マザーファンド」を高位に組み入れて運用を行います。

実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。

米国株式インデックス・マザーファンド

引き続き、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指して運用を行います。

株式組入比率(先物含む)を高位に保ち、S & P 500インデックスの時価ウェイト構成に沿った株式ポートフォリオとすることで、トラッキングエラー(ポートフォリオとベンチマークのリターンの乖離)の抑制に努めます。

3 お知らせ

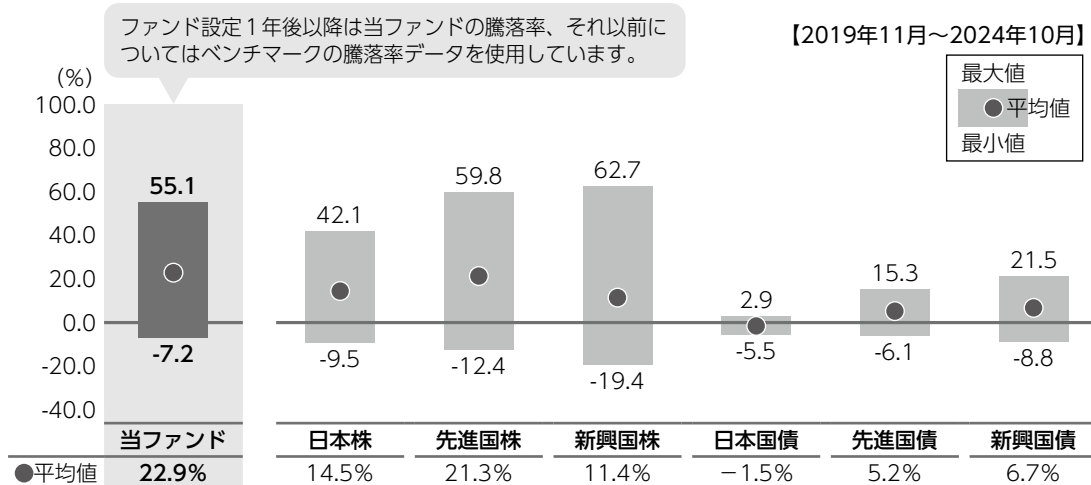
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式／インデックス型
信 託 期 間	無期限(設定日：2020年7月22日)
運 用 方 針	マザーファンドへの投資を通じて、米国の取引所に上場している株式等に投資を行い、S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。
主 要 投 資 対 象	<p>当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。</p> <p>米国株式インデックス・マザーファンド</p> <p>米国の取引所に上場している株式等</p>
当 ファ ン ド の 運 用 方 法	<p>■マザーファンドへの投資を通じて、米国の取引所に上場している株式等に投資します。</p> <p>■S & P 500インデックス(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果を目指します。</p> <p>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</p>
組 入 制 限	<p>当ファンド</p> <p>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</p> <p>米国株式インデックス・マザーファンド</p> <p>■株式への投資割合には、制限を設けません。</p> <p>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</p>
分 配 方 針	<p>■年1回(原則として毎年11月20日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</p> <p>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。</p> <p>(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

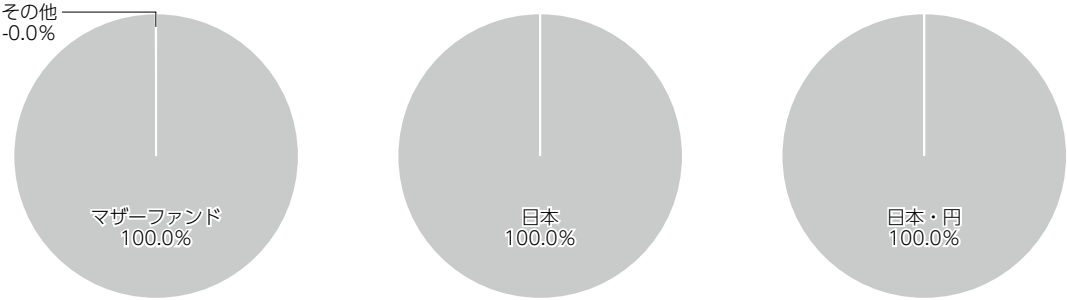
当ファンドの組入資産の内容(2024年11月20日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
米国株式インデックス・マザーファンド	100.0%
コールローン等、その他	-0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

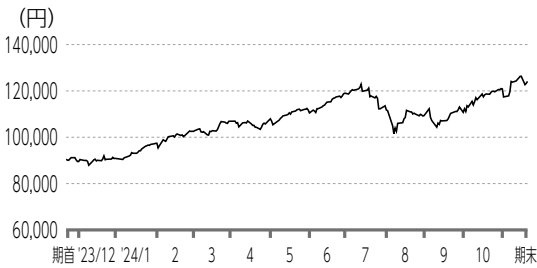
純資産等

項目	第5期末 2024年11月20日
純資産総額 (円)	106,394,621,079
受益権総口数 (口)	38,874,968,933
1万口当たり基準価額 (円)	27,368

※当期における、追加設定元本額は23,982,291,088円、解約元本額は2,031,227,035円です。

組入上位ファンドの概要

米国株式インデックス・マザーファンド(2023年11月21日から2024年11月20日まで)
基準価額の推移



1万口当たりの費用明細 (単位: 円)

項 目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(株式) (先物・オプション) (投資信託証券)	13	(10) (2) (0)
有価証券取引税	(株式) (投資信託証券)	0	(0) (0)
その他費用	(保管費用) (その他)	20	(20) (0)
合計		33	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

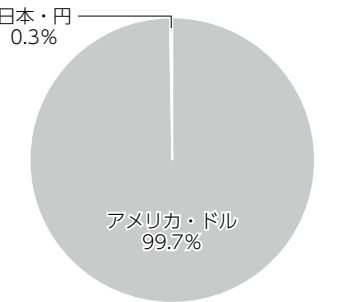
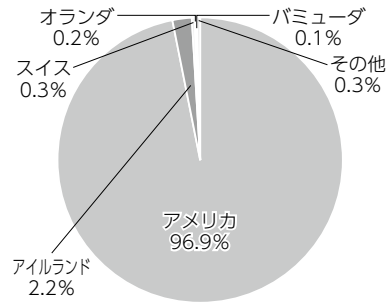
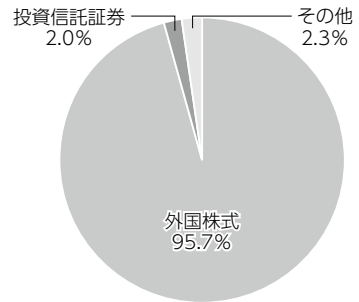
	銘柄名	業種	組入 比率
1	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	7.1%
2	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.8%
3	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	6.1%
4	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	3.7%
5	META PLATFORMS INC-CLASS A	メディア・娯楽	2.4%

※比率は、純資産総額に対する割合です。
※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(基準日: 2024年11月20日)

	銘柄名	業種	組入 比率
6	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	2.0%
7	TESLA INC	自動車・自動車部品	1.9%
8	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	1.7%
9	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	金融サービス	1.7%
10	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	1.5%
全銘柄数		502銘柄	

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。
※外国株価指数先物を2.1%買建てしています。
※基準日は2024年11月20日現在です。